



第1号議案

特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま

## 平成24年度事業報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

### 1、事業方針

交通事故や病気によって脳に損傷を負い、後遺症として高次脳機能障害を持った者及び家族が主な利用者となる。これらの人々に行政機関、医療機関、福祉機関などの情報を提供することや、高次脳機能障害者と家族の相談や情報、交流の場を提供すること、自立支援法に基づく福祉サービス事業により、医療リハビリテーション後の生活訓練、社会参加準備訓練などの自立のための支援と就労のための支援を行い、さらに、社会に対しては、この障害の理解を深めるための啓発活動を実施した。

### 2、事業内容

特定非営利活動にかかるとる事業

#### (1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

##### 【相談支援事業】

支出額 1,927,161円

<p>廿日市相談会 (自立支援特別対策助成金事業)</p>	<p>当事者家族の心身リフレッシュのためのヨガ体操を実施。 家族の悩みや支援の方法を語り合ったり、情報をつたえた。 廿日市総合相談室よりの紹介で、相談を受けた。</p>
<p>場 所 受益対象者</p>	<p>第1木曜日・第3木曜日 10:00～12:00 廿日市総合福祉センターあいプラザ 延べ83名(内当事者21名)</p>
<p>広島市中区相談会 (広島市高次脳機能障害支援事業)</p>	<p>当事者の対応法や福祉サービスの利用法等体験した家族や専門家を交えて話し合った。 当事者ワーク実施</p>
<p>場 所 受益対象者</p>	<p>個別相談：生活支援、事故示談、施設入所での悩みなど 毎月第2火曜日 生活相談：10:00～12:00(グループ形式で) 個別相談：14:00～16:00(予約制)</p>
<p>呉 相 談 会</p>	<p>広島市中区地域福祉センター5階 延べ人数134名(内新規20名) 個別相談述べ17名 今年度は廿日市や広島と同じような形で、相談会を実施。 当事者ワークも実施した。</p>
<p>場 所</p>	<p>毎月第2木曜日：14:00～16:00 呉市つばき会館</p>
<p>従事者</p>	<p>社会福祉士・言語聴覚士・法律家助手・家族体験者</p>
<p>実施効果</p>	<p>・相談会はグループ形式で行い、悩みの共有や体験者からの助言、障</p>

	<p>害のために起こるいろいろな問題などを話し合うことで、障害の理解につながり、家族間の関係が良くなってきた。毎回参加される方は、当事者の対応が良くなり、福祉サービス利用も徐々にすすみ、地域の理解に繋がっている。</p> <p>手帳取得は進んでいるが年金申請で、家族が記入する生活状況はまだまだ理解が進んでいないと感じる。個別で指導をしている状況だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者ワークに新しく参加する人が今年度はほとんどいなかった。</li> </ul> <p>最近では病院や福祉の窓口からの情報がスムーズに行われているためか、入院中の早い段階での相談、または当事者はリハビリ中の方が多く、家族のみの参加が多かった。</p>
--	--

**(2) 障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業**

支出額 11,270,931 円

【クラブハウス・シェイキングハンズ作業所】

**チャレンジ (就労移行支援事業)**

内容	<p>・働きたいという強い思いがあり、週5日毎日通えることが出来て、基本的な生活面での自立が整った方が対象です。ワークステージで基礎を整えた人が移行することもある。いかに作業能力が高くても、社会性に欠けていれば就労はうまくいかない。2年間という利用期限のなかで、ある程度障害について認識ができ、注意されたことを素直に受け入れられるようになることが就労の目安になる。</p> <p>【プログラム】</p> <p>施設内で行う下請け作業、現場での実習、就労準備支援。</p> <p>就労の見込みがある程度たった時点で、障害者職業センターで職業評価を受けること、そしてハローワークを通してジョブコーチ支援を受ける流れで支援している。また「プロフィール」を作成して、履歴書では伝えきれない障害の具体的なこと、配慮してほしいことを伝えて、ハローワークや企業側にその人に会う仕事をイメージしてもらう。</p> <p>今年度は障害者・就業生活支援センターからの職場実習や体験が多かった。</p>
事業日程	通年月曜～金曜 10時～15時
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	就労支援員・生活支援員
受益者	9名
実施効果	一般就労1名 就労継続支援A型1名

### ワークステージ (就労継続支援 B 型)

内容	<p>基本的な生活習慣や能力を養う訓練に力を入れて、生活リズム、マナーや対人技能の獲得、記憶や注意の障害の克服に取り組む。</p> <p>朝きちんと起きること、身だしなみを整える、人の話を聞くこと、理解することなどの働くための基礎力を訓練している。</p> <p>働くことがすべてではなく、自分のやりがいを見つけるために、アートセラピーや絵手紙、スポーツも実施している。</p>
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	生活指導員・職業指導員
受益者	通所者 17 名
実施成果	<p>就労継続 A 型 2 名</p> <p>週 1 日～週 3 日と徐々に通所日数が増えてきた人がいる。</p> <p>今年度 2 名就労移行支援チャレンジへ移行して一般就労を目指す</p>

### (3) 高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動及び広報活動に関する事業

支出額 798,240 円

1、講演会実施	
<p>H24・6・23</p> <p>広島市中区地域福祉センター</p> <p>参加者 70 名</p> <p>実施効果</p>	<p>1、「高次脳機能障害者の就労支援と生活自立に向けた取り組み」</p> <p>クラブハウス・シェイキングハンズの取り組みを就労移行支援チャレンジのスタッフと就労継続支援 B 型ワークステージのスタッフがそれぞれの取り組みについて目的や実施効果など説明をした。</p> <p>クラブハウスの 2 つの福祉サービス事業を知っていただき前向きに訓練する必要性を理解していただけた。医療福祉関係者の参加も多くあり、施設の内容を理解してもらえた。</p>
<p>H24・7・9</p> <p>ビューポート呉</p> <p>参加者 60 名</p> <p>実施効果</p>	<p>2、「高次脳機能障害者の特性に合わせた支援の考え方」</p> <p>当法人の支援員が DVD を使用して当事者が回復していく様子と周りの働きかけや失敗の経験を通して障害の捉え方を学びながら、社会で適応して生きる方法を考える。</p> <p>事例を通して呉で実施した。参加されたご家族はうなずきながら、熱心にメモを取ったり、共感したり支援の仕方が勉強になっていた。</p>
<p>H24・11・3</p> <p>広島市地域福祉センター</p>	<p>3、「高次脳機能障害家族として、支援者として・・・」</p> <p>仙台の就労支援施設「ほっぷの森」の支援員であり、12 年前に高次脳機能障害になったご主人とともに歩んでこられた体験を講演。</p>

<p>参加者 70 名 実施効果</p>	<p>就労支援センターの職員であり、12 年前に、高次脳機能障害となったご主人とともに障害に向き合ってきた貴重な体験を聞くことにより、生活の大変さや理解の仕方が学べ、支援者には対応について学ぶことが出来た。</p>
<p>H25・1・19 廿日市地域福祉センター 参加者 60 名 実施効果</p>	<p>4、「高次脳機能障害者が一人になった時を考える」 地域で当事者が一人で暮らすとき、困った時の相談や福祉サービスの利用等を考える。</p> <p>今回は廿日市でどのような福祉サービスがあるのか、家族が今からどんな準備をしておけばよいのかの勉強になった。参加者はほとんどが家族で、次回はそれぞれの地域で福祉関係者を交えて実施を望む声が多かった。</p>
<p>H25・2・24 広島 Y M C A 国際文化ホール 参加者 180 名 実施効果</p>	<p>5、「高次脳機能障害が良くなるということ」 朝日新聞厚生文化事業団と共同主催で講演会実施 アメリカニューヨークラスク研究所のリハビリを受けてこられた立神粧子先生、小澤富士夫さんご夫妻をお招きしてアメリカの治療・リハビリの先にどのように新しい人生を見出していくのかを考える講演会を実施した。</p> <p>アメリカのリハビリは当事者のみならず、家族の障害の理解も合わせて支援していることは日本のシステムにはないことで、立神粧子先生のお話は家族にも支援者にも問題点がよく理解できた。</p>
<p>2、情報提供</p>	<p>6、ホームページによる情報提供と管理 7、講演会の記録を冊子に作成 8、年 3 回会報発行</p>

(4) 家族支援事業

支出額 657,262 円

<p>家族交流会</p>	<p>1,毎月第 2 火曜日 中区相談会の後、13 時～15 時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5 階 2,毎月第 3 火曜日 県リハ家族セミナー後 15 時～16 時 場所：広島県障害者リハビリテーションセンター 3,日本脳外傷友の会代表者会議に参加して、厚労省、国土交通省、文部科学省に出向き話し合う。 場所：東京 4,脳外傷友の会全国大会 i n とやまに参加（富山）全国の情報交換</p>
--------------	---

その他の活動事項

日時	内容	参加者
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	就労移行支援ネットワーク会議 毎月参加	山田・濱田
H24 年 4 月	日本脳外傷友の会運営委員会参加（東京） 厚生労働省、国土交通省、文部科学省との話し合い	濱田、小林
H24 年 5 月	第 38 回日本コミュニケーション障害学会 学術講演会参加（三原）	栗栖・守下・藤原 山田・濱田・日山
H24 年 6 月	広島パイロットクラブ設立 20 周年記念式典・チャリティコンサート参加	濱田・藤原・日山
H24 年 7 月 3 日～5 日	岩手イーハトーヴ・仙台ほっぶの森視察	濱田
H24 年 8 月 23 日 29 日、9 月 3 日	就労支援セミナー就業支援基礎研修（広島）	藤原
H24 年 9 月 12 日 13 日 10 月 9・10・11 日	障害者相談支援従事者初任者研修（広島）	藤原
H24 年 10 月	日本脳外傷友の会全国大会・運営委員会参加（富山）	濱田・日山・藤原 小林
H24 年 12 月 14 日	MSW 西地区勉強会に講師として（広島）	山田
H24 年 12 月	島根県高次脳機能障害研修会に講師として（益田）	濱田
H24 年 12 月 16 日	ジョブコーチ実践フォーラム（柳井）	藤原・山田
H24 年 12 月 19 日	SST の実際研修会参加	藤原・守下・濱田
H25 年 1 月 11 日	廿日市地域自立支援ネットワーク講演会 「成年後見制度のここが知りたい」（廿日市）	濱田・日山
H25 年 1 月 12 日～17 日	JC-NET ジョブコーチ養成研修（福岡） （職場適応援助者要請研修）	藤原
H25 年 3 月 9 日～10 日	JC-NET 会議 参加（東京）	藤原・山田

平成24年度特定非営利活動にかかる事業会計 活動計算書

自平成24年4月1日 至25年3月31日

特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま

科目・摘要	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1.会費収益			
入会金	10,000		
年会費	702,000	712,000	
2.財産運用収益			
受取利息	448	448	
2.事業収益			
就労支援事業収益	1,140,487		
障害福祉サービス事業収益	25,600,393		
当事者ワーク利用負担収益	8,000		
体験料収益	74,000	26,822,880	
3.寄付金収益			
寄付金収益	1,070,352		
書籍寄付収益	270,435	1,340,787	
4.補助金・助成金収益			
補助金収益	1,370,000		
特別助成金収益	470,000		
委託助成金収益	588,000	2,428,000	
5.その他収益			
雑収益	41,642	41,642	
<b>経常収益合計</b>			31,345,757
<b>II 経常費用</b>			
1.事業費			
(1)人件費			
工賃	421,580		
給料手当	9,824,433		
法定福利費	1,369,269		
福利厚生費	41,109	11,656,391	
(2)その他の経費			
材料費	82,882		
研修研究費	115,620		
啓発事業費	313,060		
会議費	36,802		
旅費交通費	668,468		
車両費	86,401		
通信費	438,985		
生活訓練費	62,073		
消耗品費	115,442		
水道光熱費	272,545		
新聞図書費	252,625		
諸会費	39,800		
保険料	127,150		
支払報酬料	132,000		
印刷製本費	190,315		
行事参加費	10,000		
雑費	53,035	2,997,203	
2.管理費			14,653,594
(1)人件費	1,583,000		
給料手当・賞与	230,716		
法定福利費	9,662	1,823,378	
福利厚生費			
(2)その他の経費			
研修研究費	12,225		
地代家賃	2,000,000		
水道光熱費	44,369		
消耗品費	448,237		
車両費	49,820		
通信運搬費	86,222		
旅費交通費	67,520		
修繕費	72,450		
租税公課	75,700		
保険料	35,390		
諸会費	64,750		
会議費	3,400		
支払手数料	595,685		
支払報酬料	52,500		
減価償却費	1,095,811		
雑費	67,566	4,771,645	6,595,023
<b>経常費用計</b>			21,248,617
設備整備等積立金繰入			3,000,000
当期正味財産増加額			7,097,140
前期正味財産額			7,350,513
次期繰越正味財産額			17,447,653

(注2)減価償却費をより平準的に計上するため、減価償却方法を今期より定率法から定額法へ変更した。

# 平成24年度特定非営利活動にかかる事業会計 貸借対照表

平成25年3月31日現在

特定非営利活動法人 高次脳機能障害 サポートネットひろしま

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	4,293,724		
未収入金	4,328,029		
流動資産合計		8,621,753	8,621,753
2 固定資産			
有形固定資産			
設備整備等積立預金	3,000,000		
建物附属設備	4,996,675		
車両運搬具	1,656,598		
什器備品	1,402,932	11,056,205	
無形固定資産			
敷金	1,110,000		
預託金	12,540	1,122,540	
固定資産合計			12,178,745
<b>資産合計</b>			<b>20,800,498</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	900,200		
預り金	252,645		
流動負債合計		1,152,845	
2 固定負債			
長期借入金	2,200,000		
固定負債合計		2,200,000	
<b>負債合計</b>			<b>3,352,845</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		7,350,513	
当期正味財産増加額		7,097,140	
設備整備等積立金		3,000,000	
<b>正味財産合計</b>			<b>17,447,653</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>20,800,498</b>

平成24年度特定非営利活動にかかる事業会計 財産目録

平成25年3月31日現在

特定非営利活動法人 高次脳機能障害 サポートネットひろしま

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	112,088	112,088	
普通預金			
①広島銀行五日市八幡支店 3072694	2,344,990		
②広島銀行五日市八幡支店 3139012	672,635		
③郵便局振替口座	1,110,000		
④郵便局通常貯金	54,011	4,181,636	
未収入金			
3月分利用者負担金	35,809		
2・3月分自立支援給付金	4,191,298		
3月分就労支援事業(受託事業)収入	100,922	4,328,029	
<b>流動資産合計</b>			8,621,753
<b>2 固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
設備整備等積立預金			
広島銀行五日市八幡支店 3072694	3,000,000	3,000,000	
建物附属設備			
改装工事(平成23年)	3,404,401		
ローパーテーション	1		
事務所内壁・作業所入口工事	1,592,273	4,996,675	
車両運搬具			
ダイハツ ラバン	51,264		
日産セレナ	1,605,334	1,656,598	
什器備品			
パソコン 5台	252,506		
椅子	9,397		
コピー機	204,066		
収納庫	95,322		
台下冷凍冷蔵庫	161,119		
電磁調理器	237,025		
コンベクションオープン	171,892		
製氷機	91,088		
エアコン	180,517	1,402,932	
<b>無形固定資産</b>			
敷金	1,110,000		
預託金			
車両リサイクル預託金	12,540	1,122,540	
<b>固定資産合計</b>			12,178,745
<b>資産合計</b>			20,800,498
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金			
3月分 給料手当	865,000		
3月分工賃	35,200	900,200	
預り金			
源泉所得税	62,227		
社会保険料	190,418	252,645	
<b>流動負債合計</b>			1,152,845
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金			
日山 瑞恵	1,100,000		
濱田 小夜子	1,100,000	2,200,000	
<b>固定負債合計</b>			2,200,000
<b>負債合計</b>			3,352,845
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		7,350,513	
設備整備等積立金		3,000,000	
当期正味財産増加額		7,097,140	
<b>正味財産合計</b>			17,447,653
<b>負債及び正味財産合計</b>			20,800,498